



CHAPTER 3

監査証跡管理関数

この章では、次の監査証跡管理関数に関する情報を示します。

- 「[listAllAuditTrailRecords](#)」 (P.3-1)
- 「[PurgeAuditTrailRecords](#)」 (P.3-2)
- 「[readAuditTrailRecords](#)」 (P.3-2)

listAllAuditTrailRecords

構文

```
listAllAuditTrailRecords(UserToken token, Pagination pageinfo) throws RemoteException;
```

説明

この関数は、インベントリに含まれるすべての監査証跡レコードを返します。出力には、ステータス、総数、および AuditTrail の配列が含まれます。レコードが見つからない場合は、サイズが 0 の配列が返されます。

入力パラメータ

パラメータ	タイプ	値	説明
token	UserToken、 必須	—	ユーザの認証パスを表すトークン。これは、ユーザが login 関数を呼び出して、バックエンドサーバがそのユーザを認証した後に取得されます。
pageinfo	DataObject、 必須	—	offset と max を含むページ分割オブジェクト。offset は、この関数によって取得する、最初のレコードセットからの相対的なオフセットを指定します。max は、取得するレコードの最大数を指定します。max を -1 に設定すると、値が -1 であるすべてのレコードが返されます。

戻り値

この関数は、AuditTrail オブジェクトの配列を含む監査証跡ページング情報オブジェクトを返します。offset がレコード数よりも大きい場合は、サイズが 0 の配列が返されます。

エラーと例外

操作エラーが発生した場合、`Status` オブジェクトにはエラー コードとエラー メッセージが含まれます。システム エラーによって操作が完了しなかった場合は、`RemoteException` がスローされます。

PurgeAuditTrailRecords

構文

```
Status purgeAuditTrailRecords(UserToken token, int numToKeep) throws RemoteException;
```

説明

この関数は、ユーザ アクティビティのレコードを含む監査証跡ログをパージします。`numToKeep` パラメータを超える古いレコードが削除されます。

入力パラメータ

パラメータ	タイプ	値	説明
token	UserToken、 必須	—	ユーザの認証パスを表すトークン。これは、ユーザが <code>login</code> 関数を呼び出して、バックエンドサーバがそのユーザを認証した後に取得されます。
numToKeep	Integer、必 須	有効な整数値	保持するログ レコードの数。

戻り値

この関数は `Status` オブジェクトを返します。

エラーと例外

システム エラーによって操作が完了しなかった場合は、`RemoteException` がスローされます。

エラーが発生した場合、`Status` オブジェクトは `SUCCESS` 以外のエラー コードとエラー メッセージを返します。

readAuditTrailRecords

構文

```
AuditTrail[] readAuditTrailRecords(UserToken token, String[] ids);
```

説明

この関数は、ユーザ アクティビティのレコードを含む監査証跡ログを取得します。`numRecords` を 0 に設定すると、システム内のすべてのレコードが返されます。

入力パラメータ

パラメータ	タイプ	値	説明
token	UserToken、 必須	—	ユーザの認証パスを表すトークン。これは、ユーザが <code>login</code> 関数を呼び出して、バックエンドサーバがそのユーザを認証した後に取得されます。
numRecords	Integer、必 須	有効な整数値	保持するログレコードの数。

戻り値

この関数は `AuditTrail` オブジェクトの配列を返します。

エラーと例外

システムエラーによって操作が完了しなかった場合は、`RemoteException` がスローされます。

エラーが発生した場合、この関数は `null` を返します。長さが 0 の配列は、レコードが見つからなかったことを示します。

